国際研究セミナー
『悲しきバイリンガル、楽しきバイリンガル—多文化社会・植民地・グローバル世界—』

日時：**2013** 年 **9** 月 **6** 日（金）**13** 時 - **16** 時
会場：名古屋大学文系総合館 **7** 階カンファレンスホール

来聴歓迎
主催：比較マイノリティ学研究会
研究助成：日本学生支援機構（**JASSO**）
連絡先：田所光男
（**tadokoro@cc.nagoya-u.ac.jp**）

基調講演
ハスエリドン
（内モンゴル大学准教授）
「多文化社会におけるバイリンガル教育の理念と実践—中国の少数民族教育を中心に」

論題提起

イザベル・ビロドー（名古屋大学大学院国際言語文化研究科博士後期課程）「カナダにおける「没入法教育」—バイリンガル化に関する成功や問題」

川端理恵（名古屋大学大学院国際言語文化研究科博士後期課程）「Pearl S. Buck の *East Wind: West Wind* (1930) に登場するバイリンガル」

張雅婷（名古屋大学大学院国際言語文化研究科博士候補研究員）「外国人日本語作家に見られるバイリンガル性—リービ英雄の中国物を中心に—」

姜信和（愛知県立大学非常勤講師）「尹東柱のエクソフォニー状況と「邦」訳をめぐる諸問題」

田所光男（名古屋大学大学院国際言語文化研究科教授）「バイリンガリズムの中の petit nègre—無罪判決を受けた『コンゴのタンタン』—」